

防水コネクタ 取扱説明書

Handling Manual for Sealed Connectors

<対象>

- 0.64W シリーズ
- 2.3Ⅱ シリーズ
- 4.8 シリーズ
- 8.0 シリーズ

矢崎総業株式会社
矢崎部品株式会社

改訂年月日 2025年02月27日

このたびは弊社製品をご使用頂き誠にありがとうございます。

- 本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。
- 製品のご使用に際しては、貴社の製造、品質条件に適合し、かつ
要求の特性及び性能を満足していることをご確認頂きますよう
お願い致します。
- 本内容についてご不明点等があった場合は、弊社営業担当に
ご連絡頂くか、下記のURLよりお問合せをお願い致します。
お問合せ先: <https://connector.yazaki-group/>
- 本取扱説明書は、発行先に対し連絡無しに改訂する場合がありますので
ご了承下さい。

安全上の注意事項について

この取扱説明書への表示では、お使いになる人や他の人への危害、
財産への損害を未然に防止するために、お守り頂くことを下図のように
説明しています。内容をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。



注意事項が記述してあります

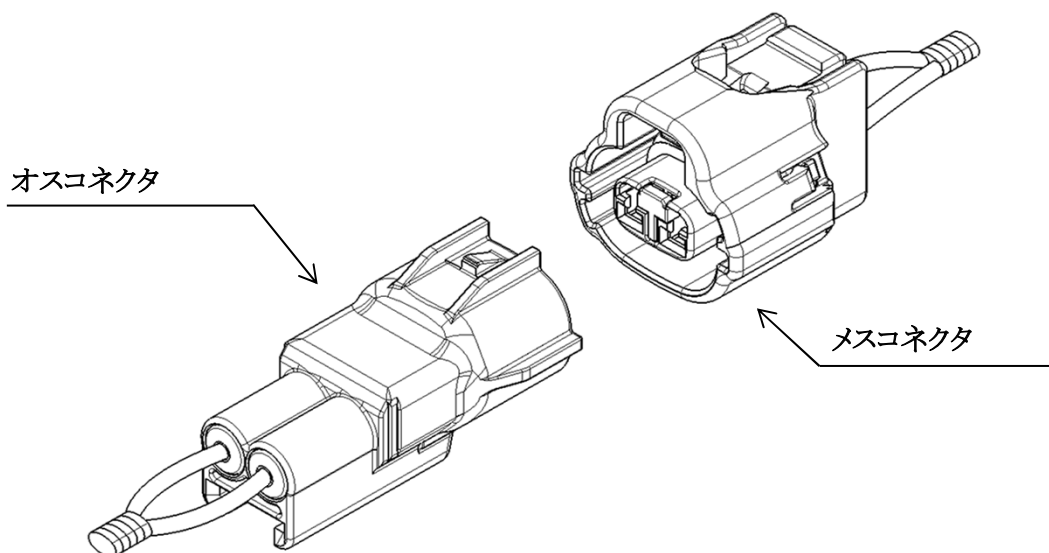
上記、表示内容を守らないことにより生じた危害や損害については、
保証を致しかねますのでご了承下さい。

目 次

1.適用範囲	・ ・ ・ ・ P.3
2.部品名称と機能	・ ・ ・ ・ P.4 ～ P.8
3.製品の受入れ、運搬、保管	・ ・ ・ ・ P.9
4.ワイヤーハーネス製造作業(二重係止タイプ)	・ ・ ・ ・ P.10 ～ P.19
5.ワイヤーハーネス製造作業(HLCタイプ)	・ ・ ・ ・ P.20 ～ P.23
6.ワイヤーハーネスの管理、梱包、開封	・ ・ ・ ・ P.24 ～ P.25
7.コネクタのかん合・離脱	・ ・ ・ ・ P.26 ～ P.29
8.ブラケットへの挿入・離脱	・ ・ ・ ・ P.30 ～ P.31
9.コネクタの車輛搭載	・ ・ ・ ・ P.32
別紙 品番一覧表	
0.64Wシリーズ	・ ・ ・ ・ 別紙 1
2.3Ⅱシリーズ	・ ・ ・ ・ 別紙 2 ～ 3
4.8シリーズ	・ ・ ・ ・ 別紙 4
8.0シリーズ	・ ・ ・ ・ 別紙 5
HYBRIDシリーズ	・ ・ ・ ・ 別紙 6
ダミー栓	・ ・ ・ ・ 別紙 7

1.適用範囲

本取扱説明書は自動車の低圧回路に使用する0.64W、2.3Ⅱ、4.8、8.0(※1) 二重係止コネクタ(※2) 及び、2.3Ⅱ、8.0 HLCコネクタ(※3) について適用する。端子の取扱方法については、取扱説明書「YPES-15-1991」を参照して下さい。



<補足>

※1 … 0.64W、2.3Ⅱ、4.8、8.0 コネクタ

- ・オス端子のタブ幅(mm)違いにより、0.64W、2.3Ⅱ、4.8、8.0 コネクタと呼ぶ。

※2 … 二重係止コネクタ

- ・スペーサにて端子の半挿入検知を行うことが出来るコネクタ。

※3 … HLCコネクタ

- ・Housing Lance Check の略である。
ランスにて端子の半挿入検知を行うことが出来るコネクタ。

作業全体を通しての注意事項



注意

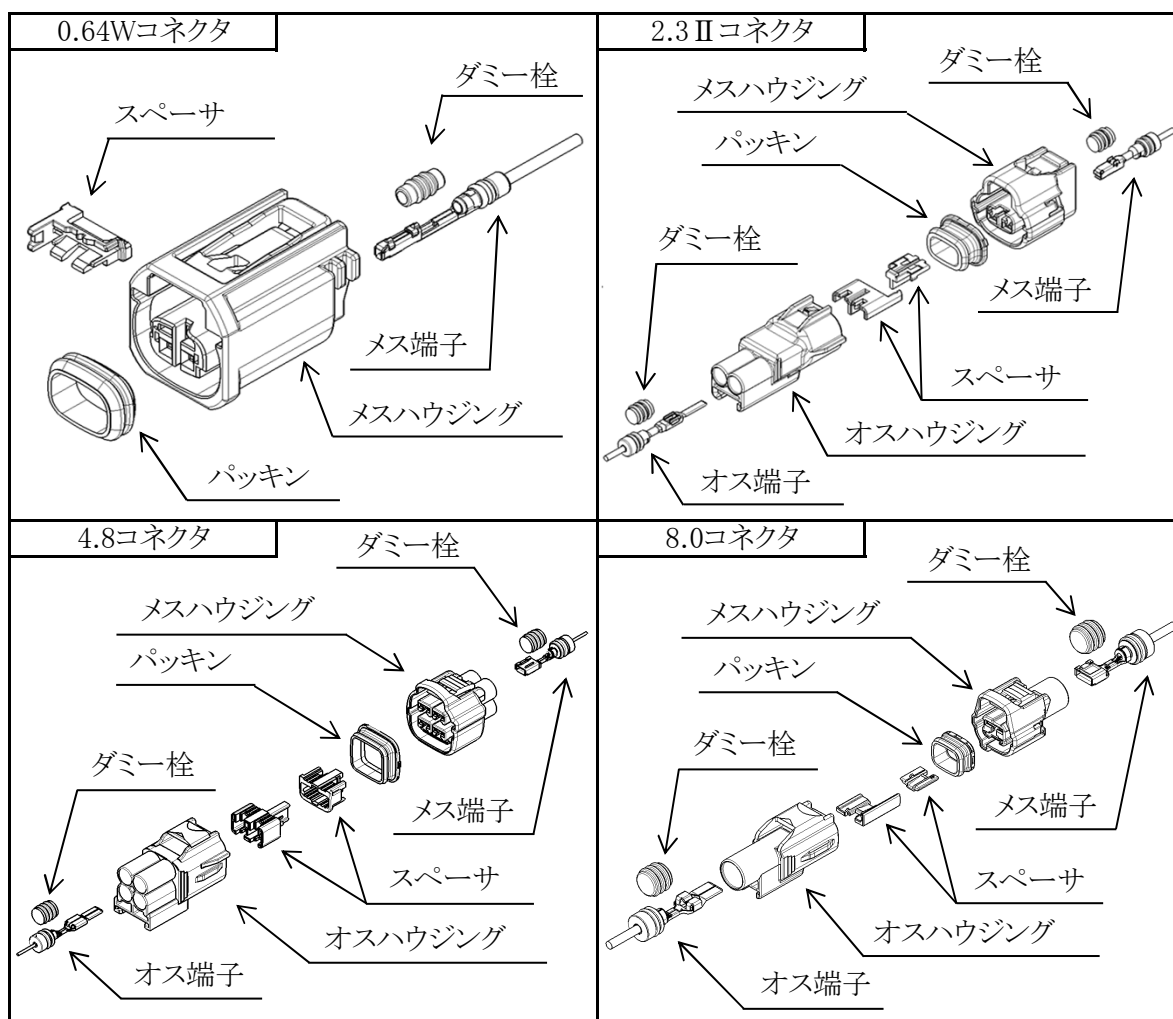
- ・製品を運搬、保管する際は水、砂、埃、土、油、塩分、薬品等から保護して下さい。
- ・製品は正しい組合せで使用して下さい。
- ・破損、変形等の問題が発生した製品は使用せず新しい製品と交換して下さい。

<破損・変形の発生要因一例>

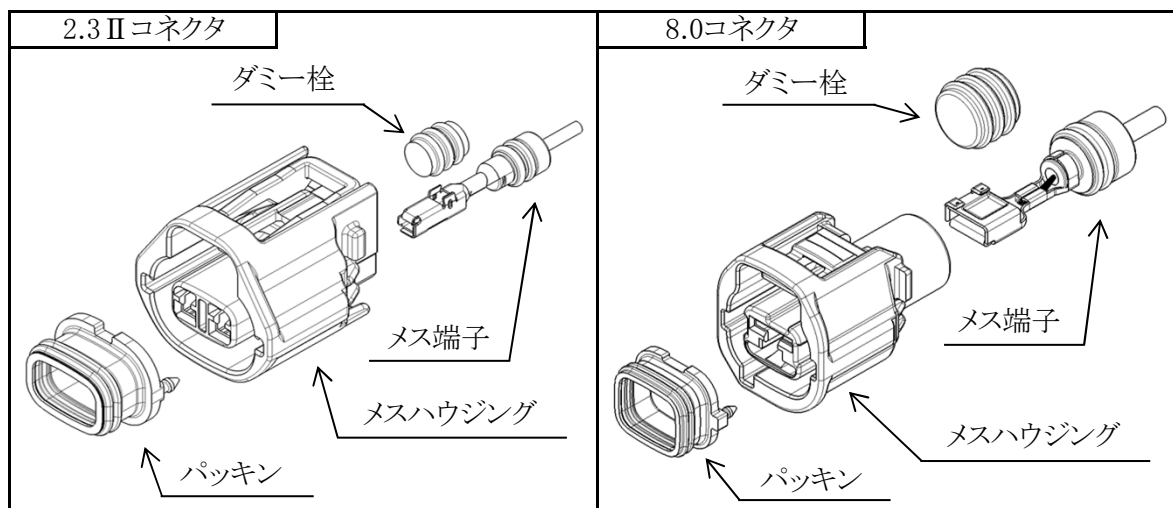
使用するコネクタの逆端末にて製品に熱や振動等が加わる加工
— 抵抗溶接、超音波溶着、レーザー溶着等

2.部品名称と機能

2-1.部品名称(二重係止タイプ)



2-2.部品名称(HLCタイプ)



2-3.部品名称と機能

2-3-1.オスハウジング

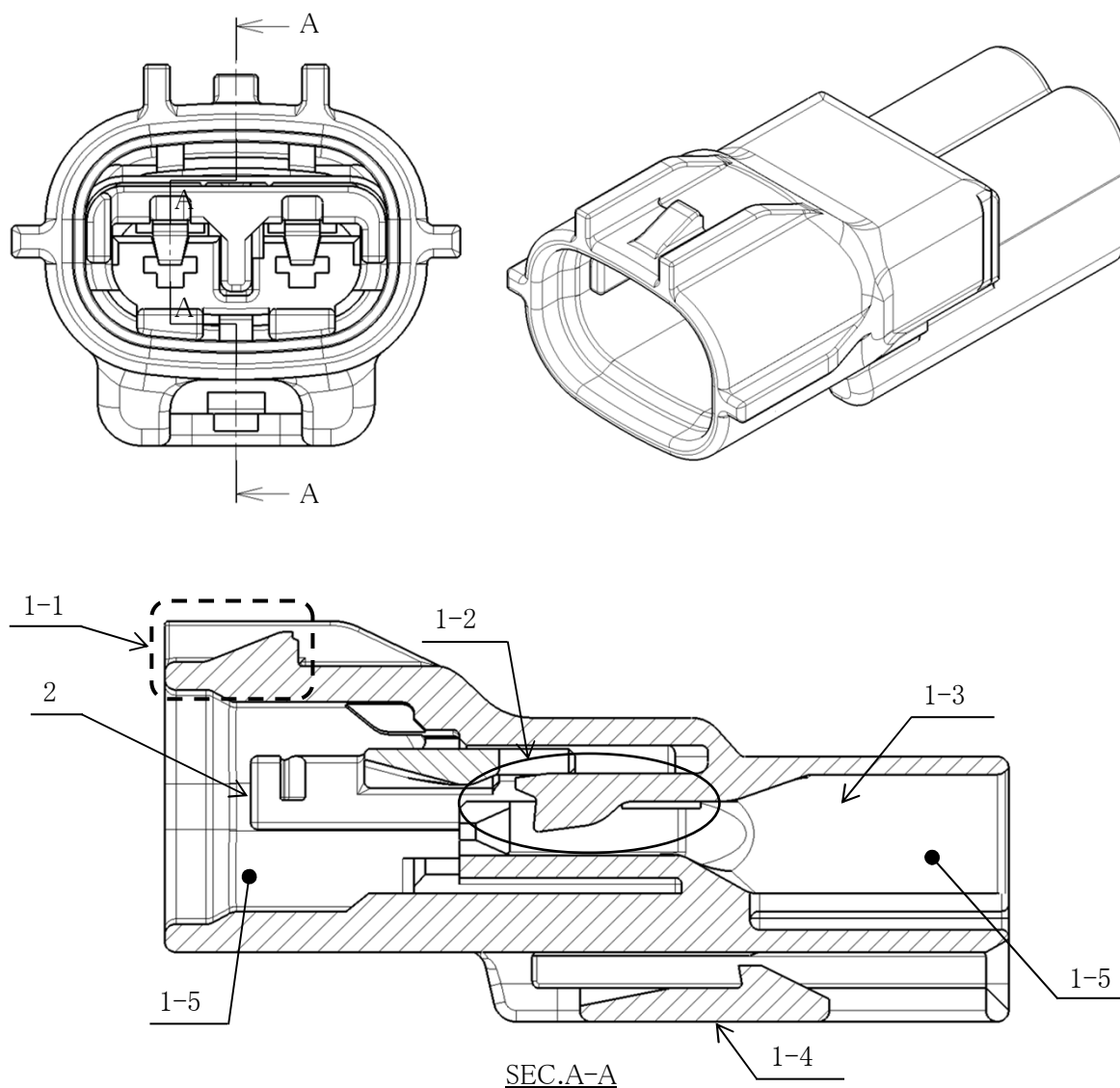


表-1

No.	名称		機能
1	オス ハウジング	1-1 ロック(種類はP7参照)	メスハウジングとの保持
		1-2 ランス	オス端子の保持
		1-3 キャビティ	オス端子及びゴム栓の収容
		1-4 カセット	外部との固定
		1-5 シール面	オス・メスハウジング間及び ゴム栓・ハウジング間の止水
2	スペーサ(種類はP8参照)		オス端子の半挿入検知及び保持

2-3-2.メスハウジング

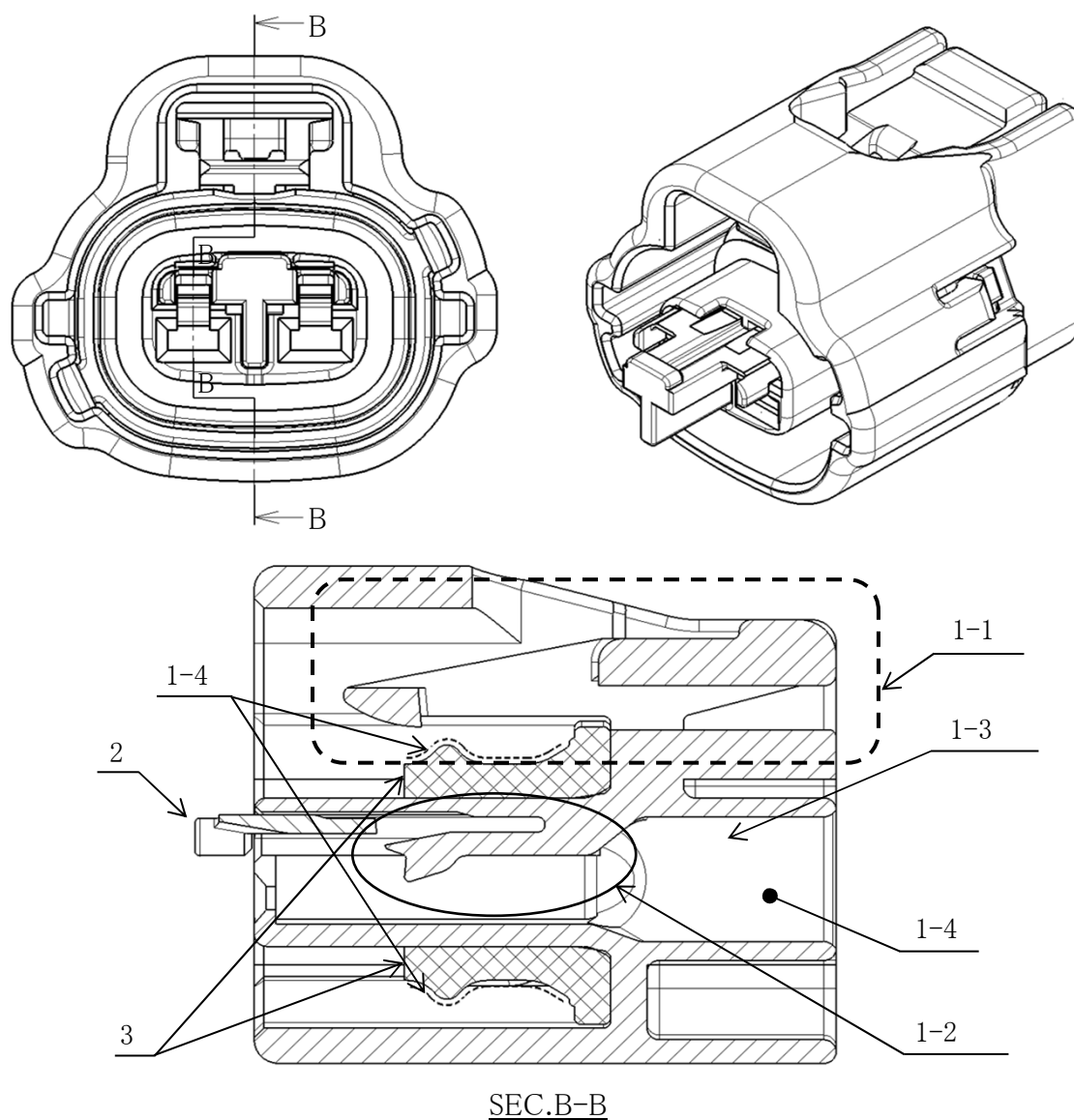


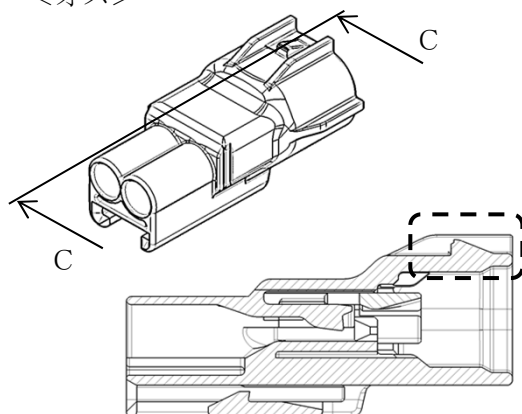
表-2

No.	名称		機能
1	メスハウジング	1-1 ロック(種類はP7参照)	オスハウジングとの保持
		1-2 ランス	メス端子の保持
		1-3 キャビティ	メス端子及びゴム栓の収容
		1-4 シール面	オス・メスハウジング間及び ゴム栓・ハウジング間の止水
2	スペーサ(種類はP8参照)		メス端子の半挿入検知及び保持
3	パッキン		オス・メスハウジング間の止水

補足 ハウジングロックの種類

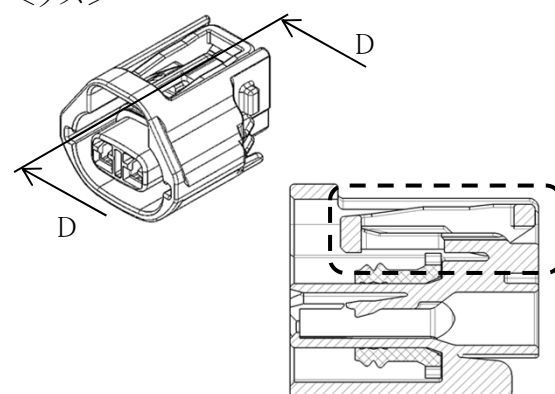
1) Zロック

<オス>



SEC.C-C

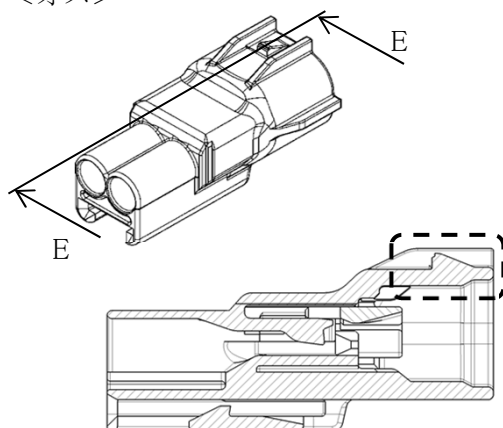
<メス>



SEC.D-D

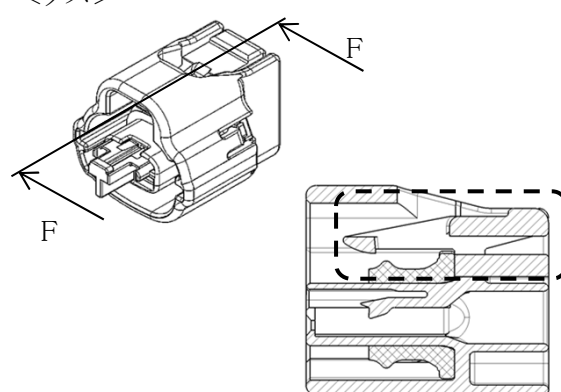
2) シーソーロック

<オス>



SEC.E-E

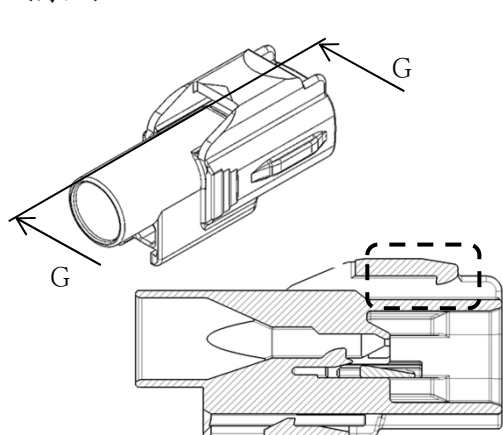
<メス>



SEC.F-F

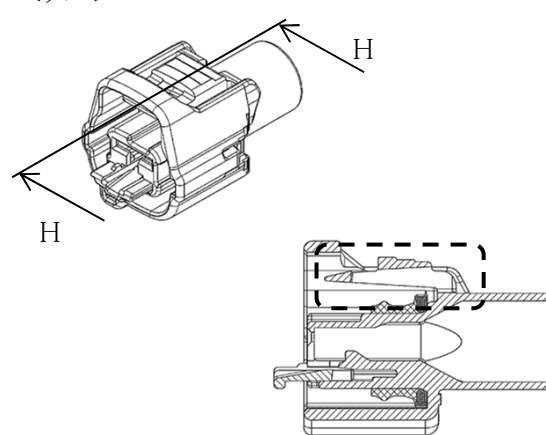
3) 正面ロック

<オス>



SEC.G-G

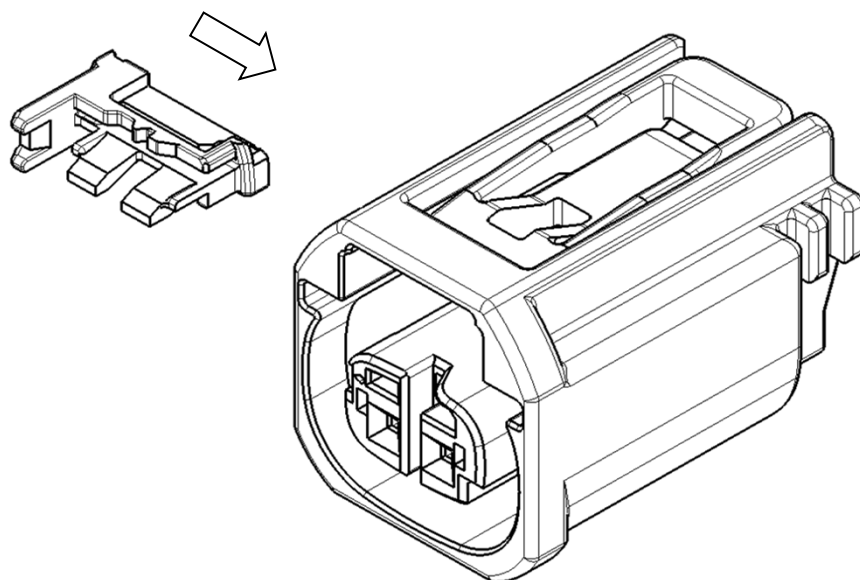
<メス>



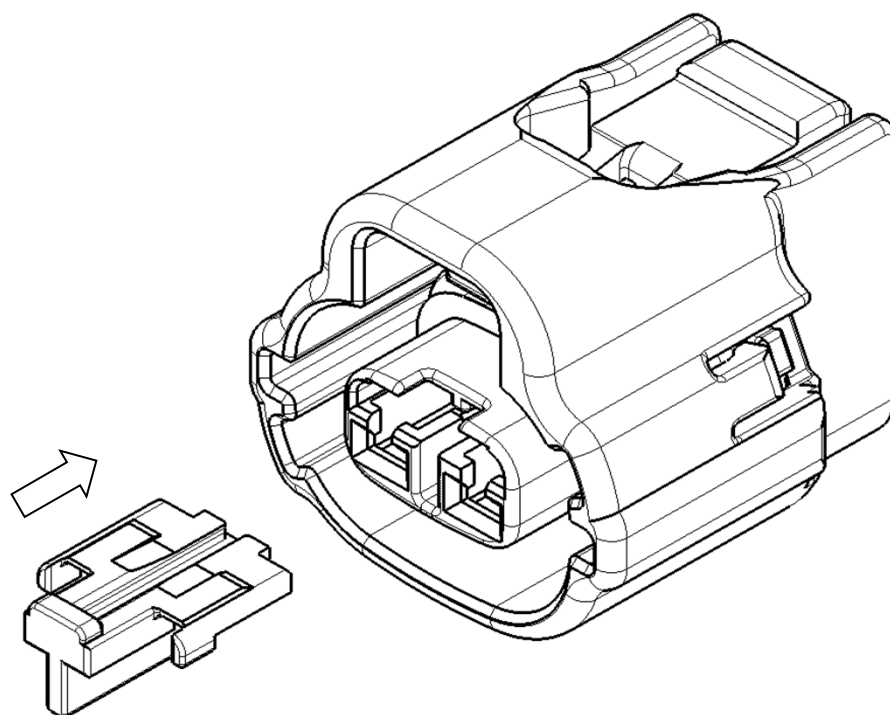
SEC.H-H

補足 スペーサの種類

1) サイドスペーサタイプ



2) フロントスペーサタイプ



3.製品の受入れ、運搬、保管

3-1.製品受入れ方法

製品受入時には、下記項目について確認を行って下さい。

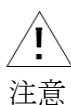
確認項目

- 1) 全ての製品
 - ・ 品番の確認
 - ・ 異物、異品の混入
- 2) ハウジング
 - ・ バリ、ヒケ、クラック、ショートショット
 - 変形、破損、傷、変色、汚れ、欠け
- 3) ダミー栓
 - ・ バリ、ヒケ、ショートショット、裂け
 - 変形、破損、傷、変色、汚れ、欠け



・上記項目に異常がある場合は、使用しないで下さい。
※製品と注文内容に相異がある場合や製品に破損がある場合は、
弊社営業担当にお問い合わせ頂くか、P1のURLへお問い合わせ下さい。

3-2.製品の運搬、保管方法



運搬について

- ・運搬時の衝撃を避けるため、梱包(保護)して下さい。
- ・運搬又は梱包時に、落下などによる、強い衝撃や荷重を与えないようにして下さい。

保管について

- ・直射日光の当たらない室内で、常温常湿
($20 \pm 15[^\circ\text{C}]$ 、 $65 \pm 20[\%RH]$)の環境下に保管して下さい。
- ・古い在庫品は使用しないで下さい。
- ・製品に外部から力が加わらないようにして下さい。

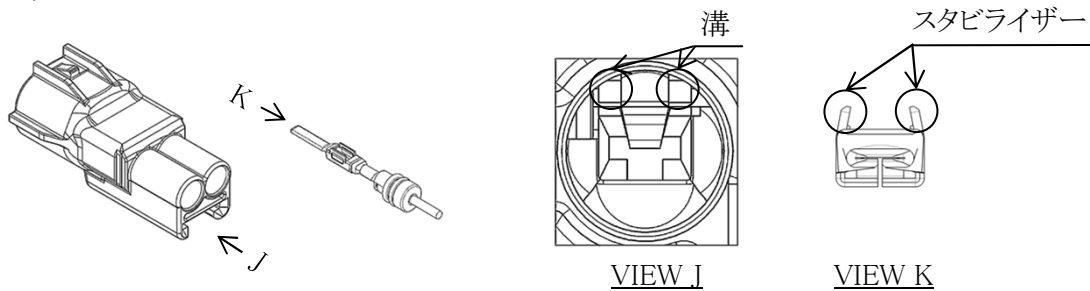
4.ワイヤーハーネス製造作業(二重係止タイプ)

4-1.ハウジングと端子の組付け

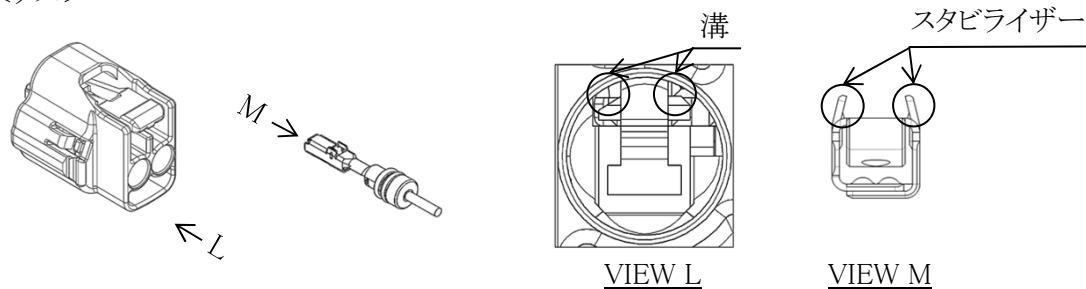
4-1-1.端子挿入方法

- 1) 端子の挿入前にスペーサが仮係止状態にあることを確認して下さい。
スペーサが本係止状態にある時は、仮係止状態に戻してから作業を行って下さい。(作業手順は4-2-1.本係止解除を参照)
- 2) ハウジングのキャビティ溝と端子のスタビライザーの位置を合わせて下さい。

<オス>

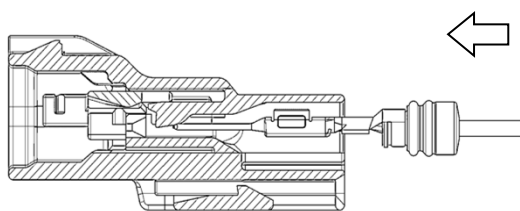


<メス>

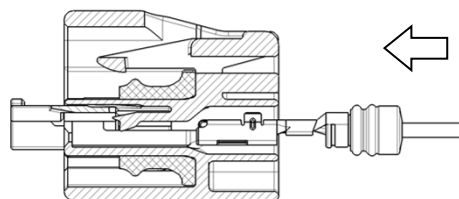


- 3) 係止音がするまで、矢印方向に端子をハウジングへ真っ直ぐ挿入して下さい。

<オス>

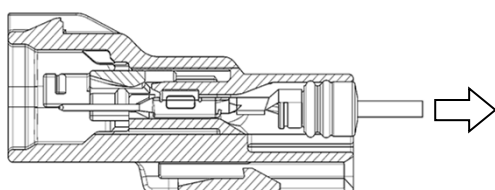


<メス>

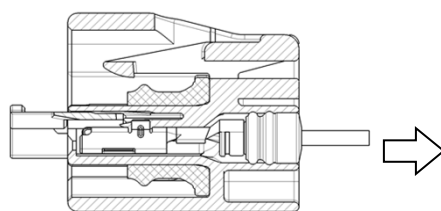


- 4) 電線を軽く引っ張り、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。

<オス>



<メス>

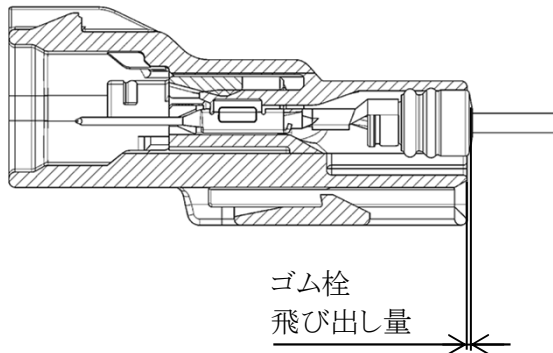


5) ゴム栓飛び出し量が 表-3 の範囲に収まっているか確認して下さい。

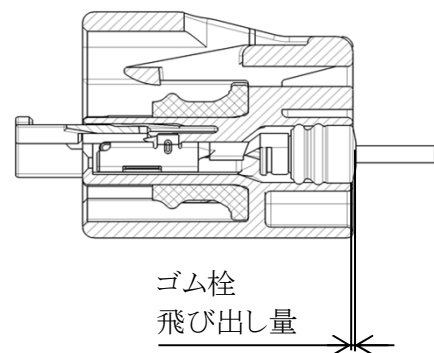
表-3

コネクタタイプ	ゴム栓飛び出し量	コネクタタイプ	ゴム栓飛び出し量
0.64W	0 ～ 2.0mm	4.8	0 ～ 2.8mm
2.3 II	0 ～ 2.0mm	8.0	0 ～ 3.0mm

<オス>



<メス>

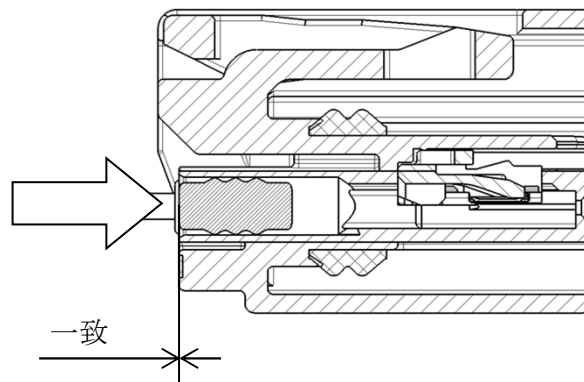


- ・適用端子、ゴム栓以外を挿入しないで下さい。
- ・変形、破損した端子、ゴム栓を挿入しないで下さい。
- ・端子でシール面に傷を付けないで下さい。

4-1-2. ダミー栓の組付け

端子を挿入しないキャビティには、ダミー栓を挿入し、ダミー栓端面とハウジング面が一致するまで押し込んで下さい。

(ダミー栓の向きの指定はありません)



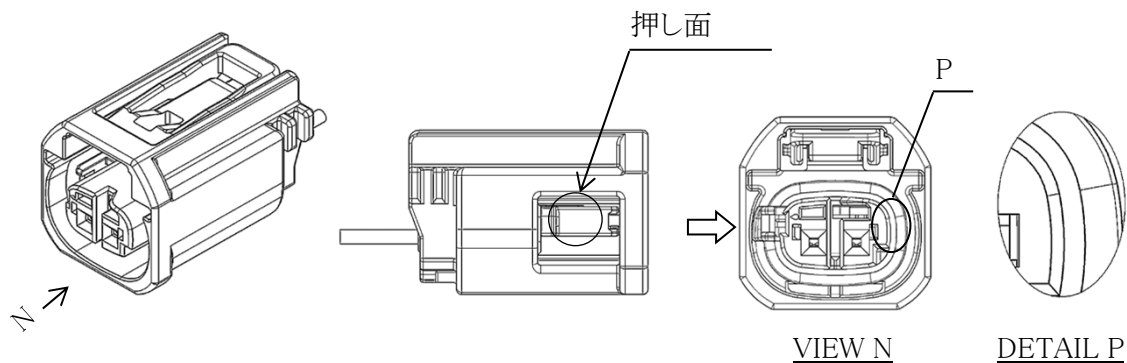
- ・外れたダミー栓を再度使用しないで下さい。
- ・ダミー栓端面がキャビティから飛び出していないことを確認して下さい。
- ・オスメスカン合は、ダミー栓挿入から3時間以上経過してから行って下さい。

4-1-3. スペーサ本係止操作方法

■ サイドスペーサタイプ

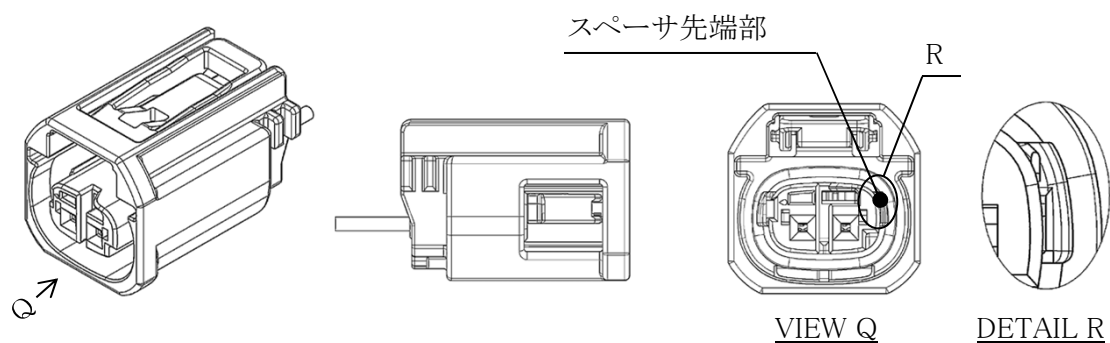
- 1) 端子を挿入後、係止音がするまでスペーサの押し面を矢印方向へ水平に押し込んで下さい。

<メス>

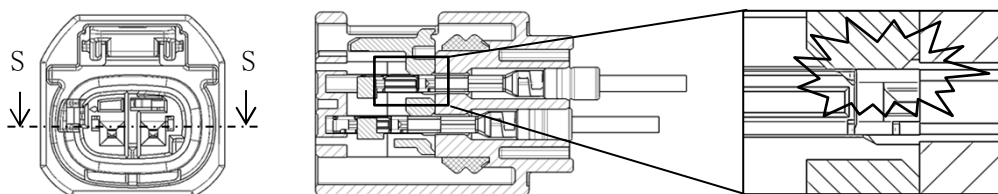


- 2) スペーサ先端部が見えていることを確認して下さい。(本係止状態)

<メス>



- ・スペーサを本係止状態に出来ない場合は、下図の状態になっている場合がありますので、無理に端子を押し込まず、端子係止確認 4-1-1. 4)とスペーサの係止解除 4-2-1. の作業を実施後、端子挿入 4-1-1.の作業からやり直して下さい。

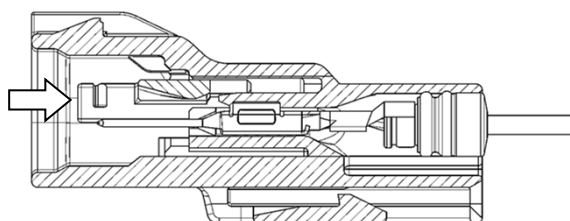


- ・治具等でシール面に傷を付けないで下さい。
- ・治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

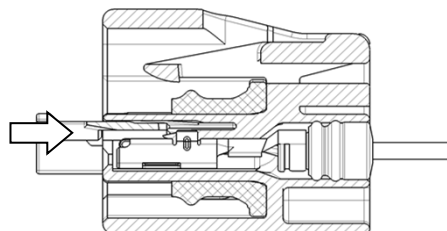
■ フロントスペーサタイプ

- 1) 端子を挿入後、係止音がするまでスペーサを矢印方向に押し込んで下さい。

<オス>

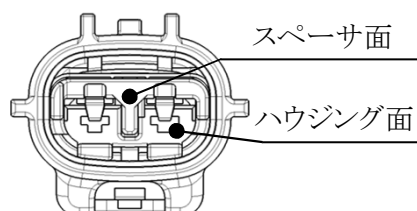


<メス>

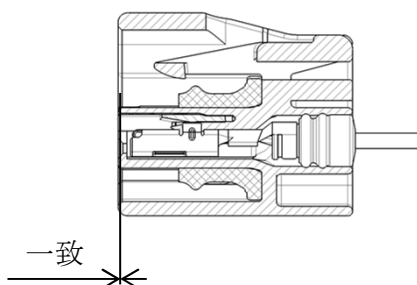
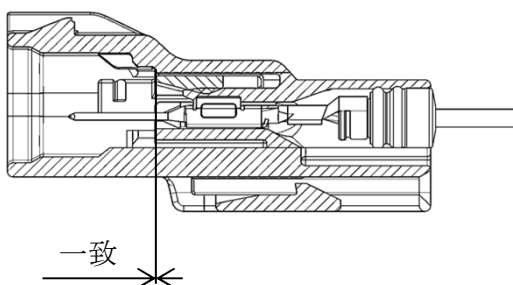
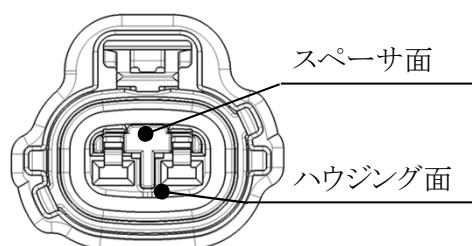


- 2) ハウジング面とスペーサ面が一致されていることを確認して下さい。
(本係止状態)

<オス>



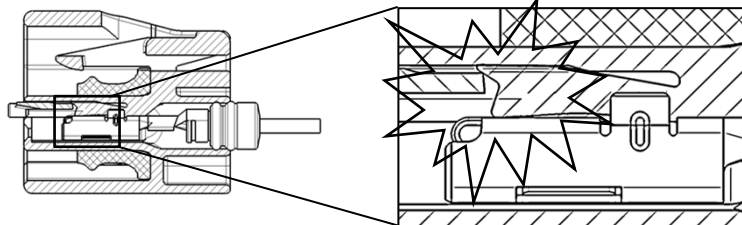
<メス>



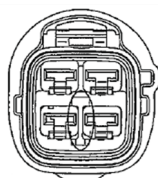
- ・スペーサを本係止状態に出来ない場合は、下図の状態になっている場合がありますので、無理に端子を押し込まず、端子係止確認 4-1-1. 4)とスペーサの係止解除 4-2-1. の作業を実施後、端子挿入 4-1-1.の作業からやり直して下さい。



注意



- ・治具等でシール面に傷を付けないで下さい。
- ・治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。
- ・挿入時には、フロントホルダ中心部を押して下さい。



4-2.ハウジングと端子の取り外し

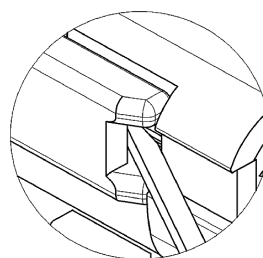
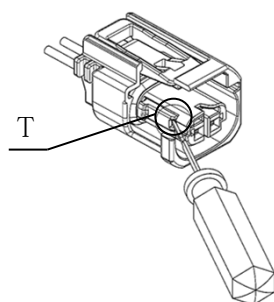
4-2-1.本係止解除

■ サイドスペーサタイプ

- 1) スペーサの解除位置(下図参照)を確認し、マイナスドライバー又は治具を下図のように挿入して下さい。

参考) 弊社治具番号: 49YA000056

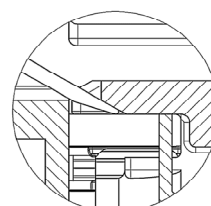
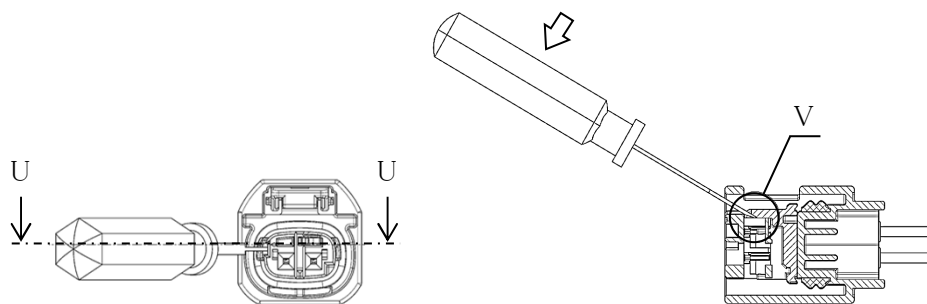
<メス>



DETAIL T

- 2) 治具を矢印の方向へ動かし、スペーサを仮係止状態にして下さい。

<メス>

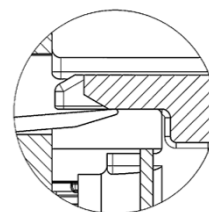
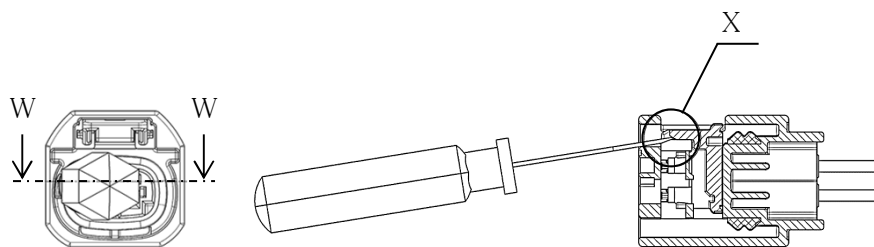


DETAIL V

SEC.U-U

- 3) スペーサが確実に仮係止位置に戻っていることを確認して下さい。

<メス>



DETAIL X

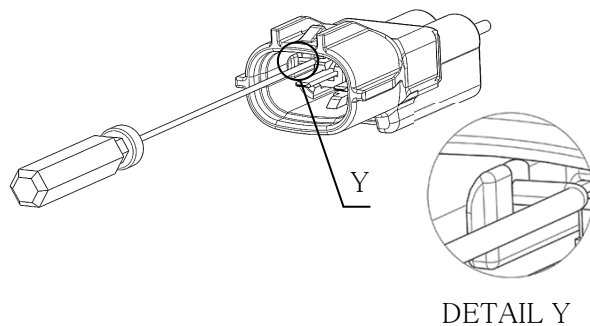
SEC.W-W

■ フロントスペーサタイプ

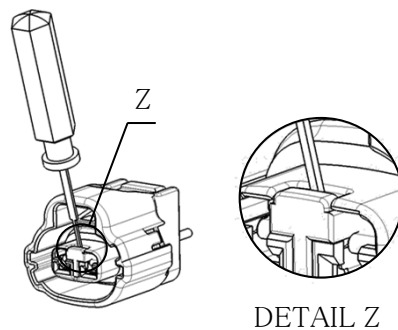
- 1) スペーサの解除位置(下図参照)を確認し、マイナスドライバー又は治具を下図のように挿入して下さい。

参考) 弊社治具番号: 49YF000002、49YA000056

<オス>

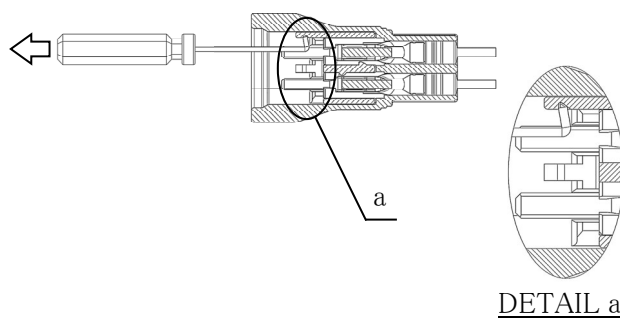


<メス>

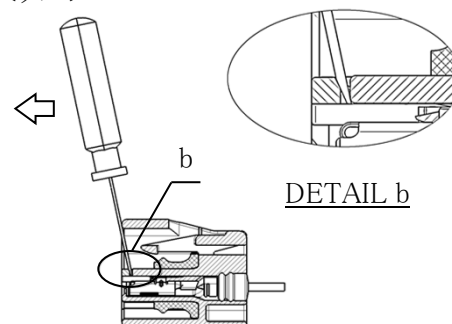


- 2) 治具を矢印の方向へ動かし、スペーサを仮係止状態にして下さい。

<オス>

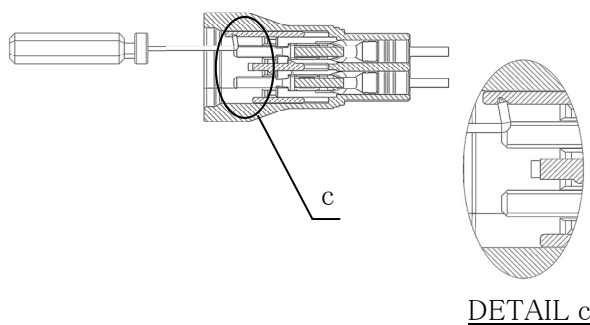


<メス>

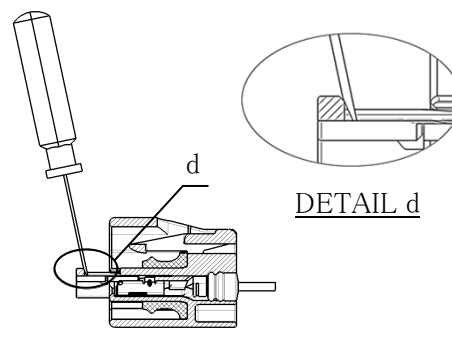


- 3) スペーサが確実に仮係止位置に戻っていることを確認して下さい。

<オス>



<メス>



- ・仮係止状態にする時は、強い荷重をかけないで下さい。
- ・仮係止状態に戻したら、解除操作をやめて下さい。
- ・治具等でシール面に傷を付けないで下さい。
- ・治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

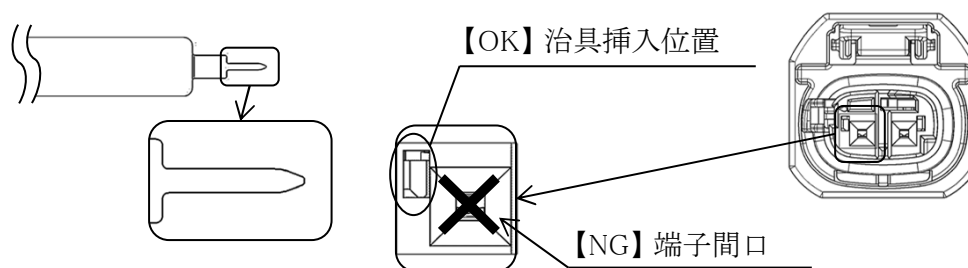
4-2-2.端子の取外し方法

■ 0.64W端子

1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。

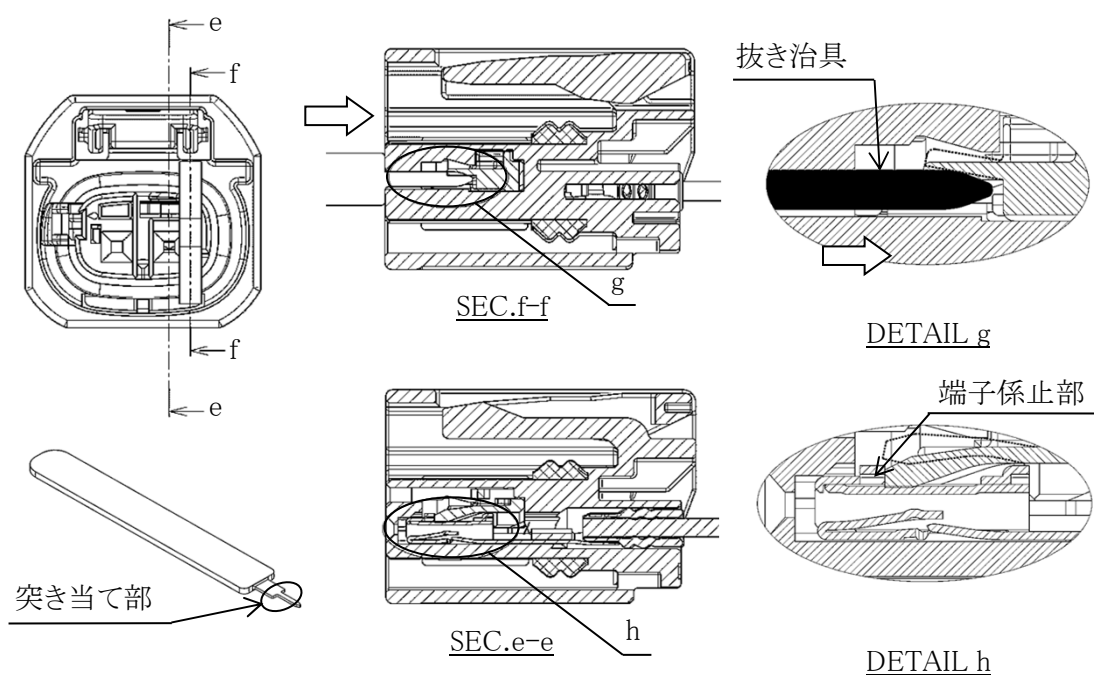
参考) 弊社治具番号: 49YA000703

<メス>



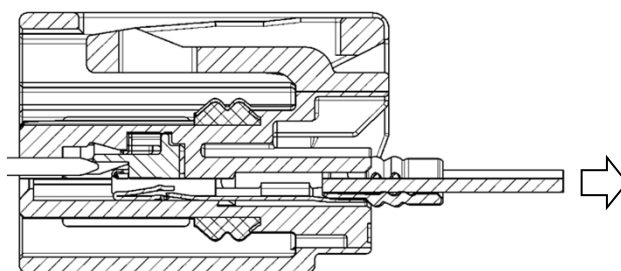
2) 抜き治具を矢印の方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の突き当て部がハウジングに当たるまで治具を挿入してハウジングランスを撓ませて下さい。

<メス>



3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

<メス>

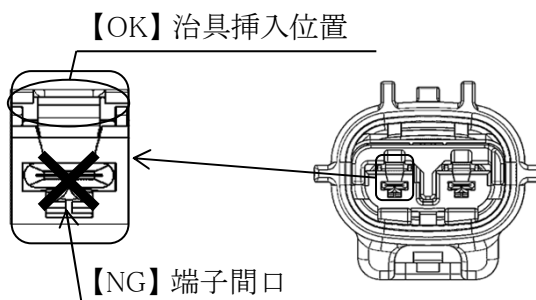
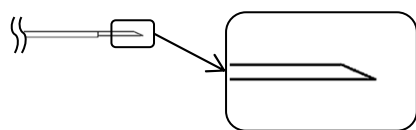


■ 2.3Ⅱ、4.8、8.0端子

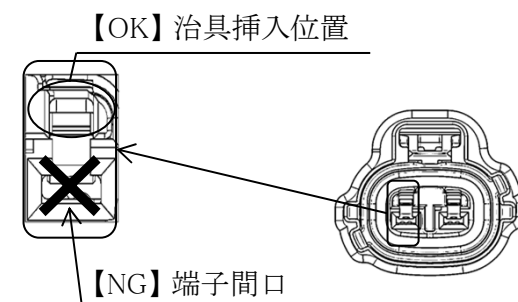
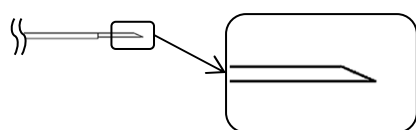
1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。

参考) 弊社治具番号: 49YA000056

<オス>

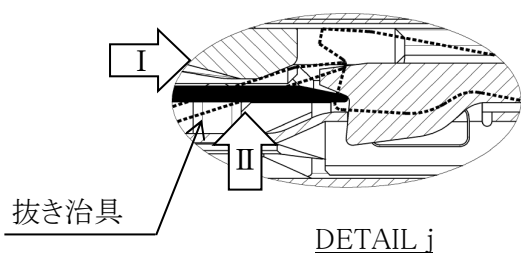
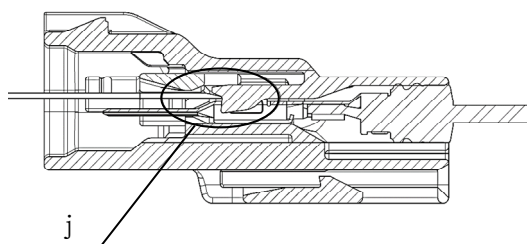


<メス>

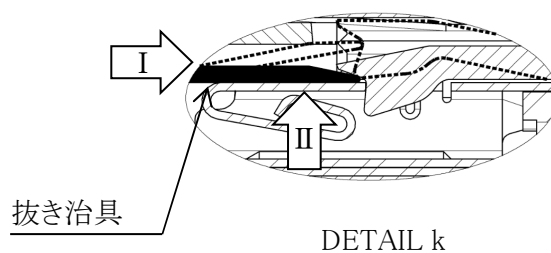
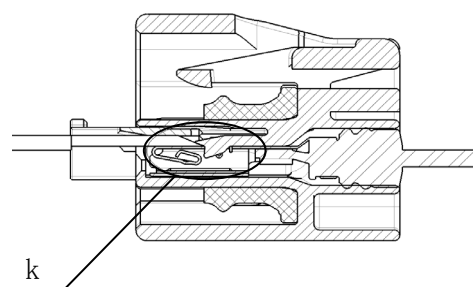


2) 抜き治具を矢印(I)方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の先端がハウジングランスに当たるまで治具を挿入して下さい。
その後、矢印(Ⅱ)方向へ治具を動かしハウジングランスを撓ませて下さい。

<オス>

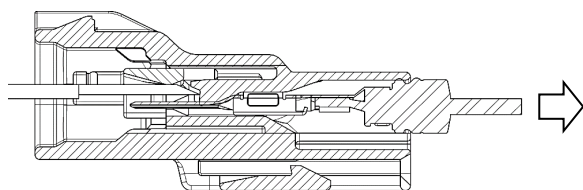


<メス>

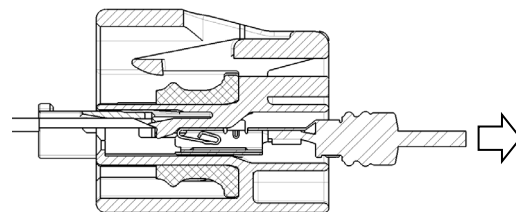


3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

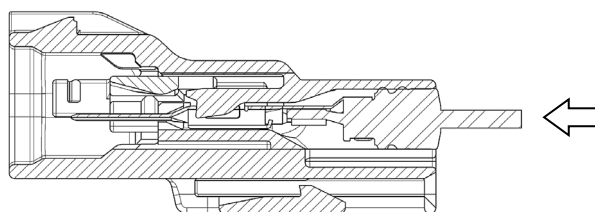
<オス>



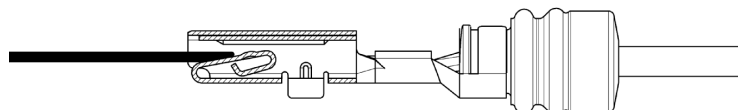
<メス>



※ 端子が抜きづらい場合は、ハウジングランスを撓ます前に端子を矢印方向へ押し込んで下さい。



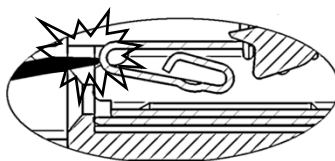
- ・抜き治具を挿入する際は押し込み過ぎないようにして下さい。
- ・治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。
- ・端子箱部内に治具を入れないで下さい。



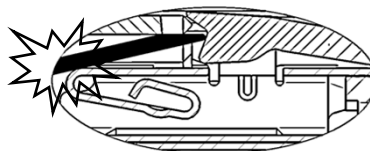
- ・治具を端子にどつかせないで下さい。



注意



- ・端子ばね部を支点にして解除しないで下さい。



- ・端子がハウジングから容易に抜けない場合は、無理に引っ張らないで端子の取外し方法4-2-2.1)の作業からやり直して下さい。
- ・端子、治具等でシール面に傷を付けないで下さい。

4-3.導通検査、端子半挿入検知

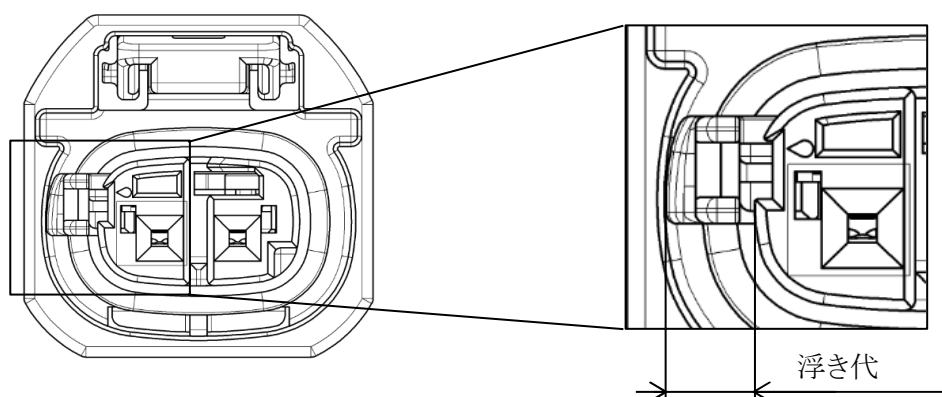
4-3-1.導通検査治具での検査方法

配線検査や導通検査に使用する治具は、ハウジングや端子を破損しないようにかん合相手と同程度の精度として下さい。

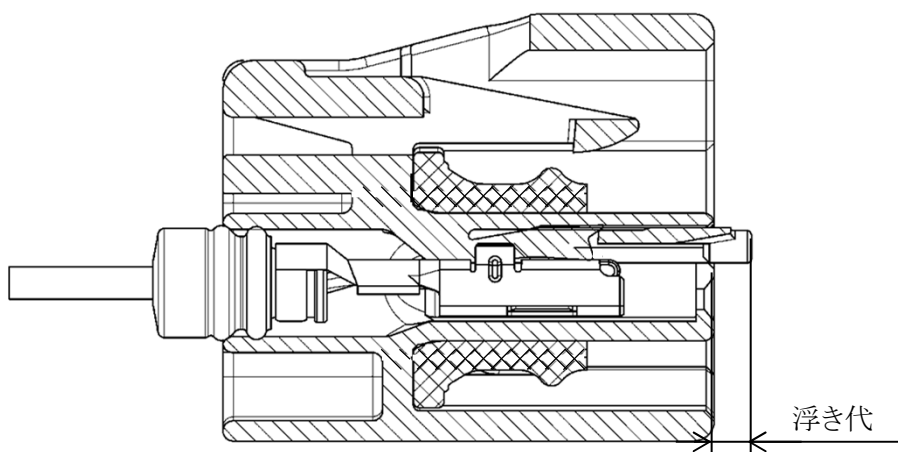
4-3-2.端子半挿入検知方法

端子半挿入検知については、目視ではなくスペーサの浮き代を専用治具で確認して下さい。それが出来ない場合は、端子引っ張り確認などで確実に端子半挿入状態で無いことを確認して下さい。

■ サイドスペーサタイプ



■ フロントスペーサタイプ



注意

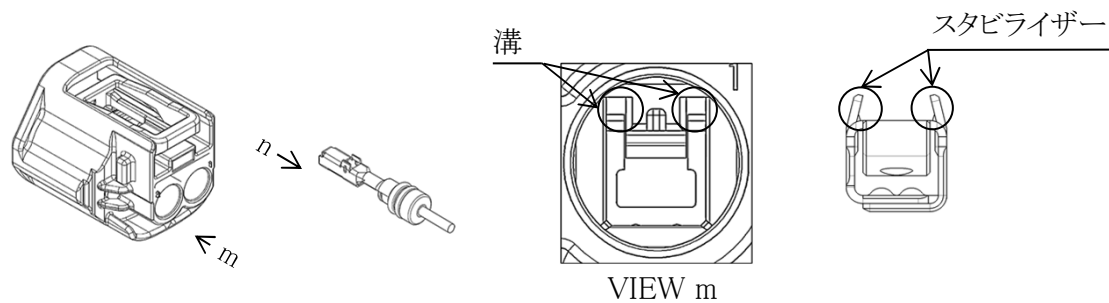
- ・上記作業に使用する治具等でシール面に傷を付けないで下さい。
- ・上記作業に使用する治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを变形させないで下さい。

5.ワイヤーハーネス製造作業(HLCタイプ)

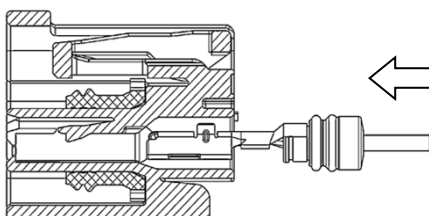
5-1.ハウジングと端子の組付け

5-1-1.端子挿入方法

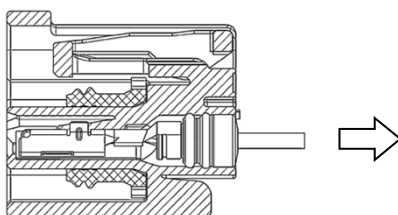
- 1) ハウジングのキャビティ溝と端子のスタビライザーの位置を合わせて下さい。



- 2) 係止音がするまで、矢印方向に端子をハウジングへ真っ直ぐ挿入して下さい。



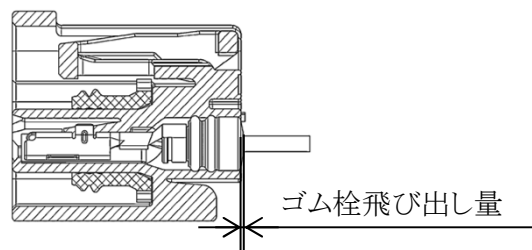
- 3) 電線を軽く引っ張り、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。



- 4) 端子に圧着したゴム栓飛び出し量が、表-4の範囲に収まっているか確認して下さい。

表-4

コネクタタイプ	ゴム栓飛び出し量	コネクタタイプ	ゴム栓飛び出し量
2.3 II	0 ～ 2.0mm	8.0	0 ～ 3.0mm

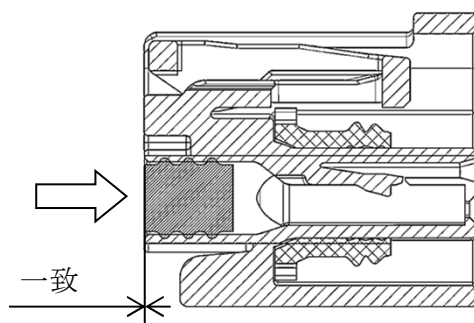


注意

- ・適用端子、ゴム栓以外を挿入しないで下さい。
- ・変形、破損した端子、ゴム栓を挿入しないで下さい。
- ・端子でシール面に傷を付けないで下さい。

5-1-2.ダミー栓の組付け

端子を挿入しないキャビティには、ダミー栓を挿入し、ダミー栓面とハウジング面が一致するまで押し込んで下さい。
(ダミー栓の向きの指定はありません)



注意

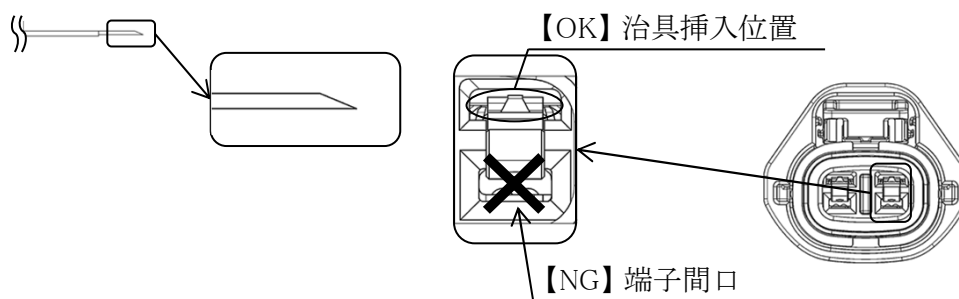
- ・外れたダミー栓を再度使用しないで下さい。
- ・ダミー栓面がキャビティから飛び出していないことを確認して下さい。
- ・オスメスカン合は、ダミー栓挿入から3時間以上経過してから行って下さい。

5-2-1.端子の取外し方法

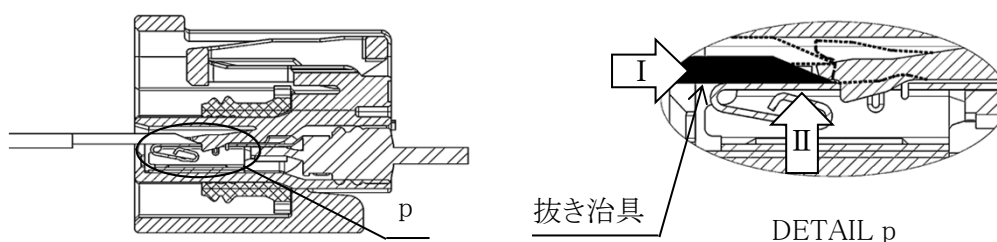
■ 2.3Ⅱ、8.0端子

1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。

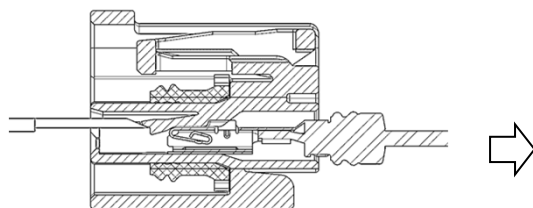
参考) 弊社治具番号: 49YA000056



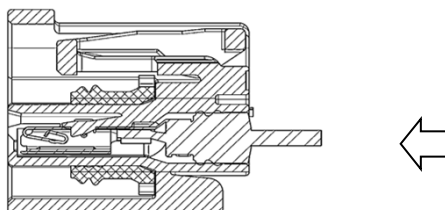
2) 抜き治具を矢印(Ⅰ)方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の先端がハウジングランスに当たるまで治具を挿入して下さい。
その後、矢印(Ⅱ)方向へ平行に治具を動かしハウジングランスを撓ませて下さい。



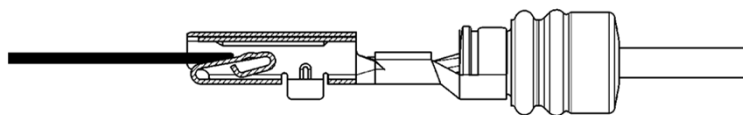
3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。



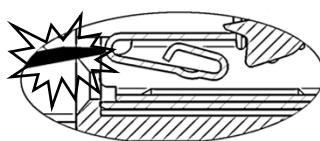
※ 端子が抜きづらい場合は、ハウジングランスを撓ます前に端子を矢印方向へ押し込んで下さい。



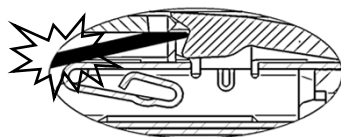
- ・抜き治具を挿入する際は押し込み過ぎないようにして下さい。
- ・治具等でメス端子のばねを変形させないで下さい。
- ・端子箱部内に治具を入れないで下さい。



- ・治具を端子にどつかせないで下さい。



- ・端子ばね部を支点にして解除しないで下さい。



- ・治具を傾けて動かさないようにして下さい。
- ・端子がハウジングから容易に抜けない場合は、無理に引っ張らないで端子の取外し方法4-2-4.1)の作業からやり直して下さい。
- ・端子、治具等でシール面に傷を付けないで下さい。

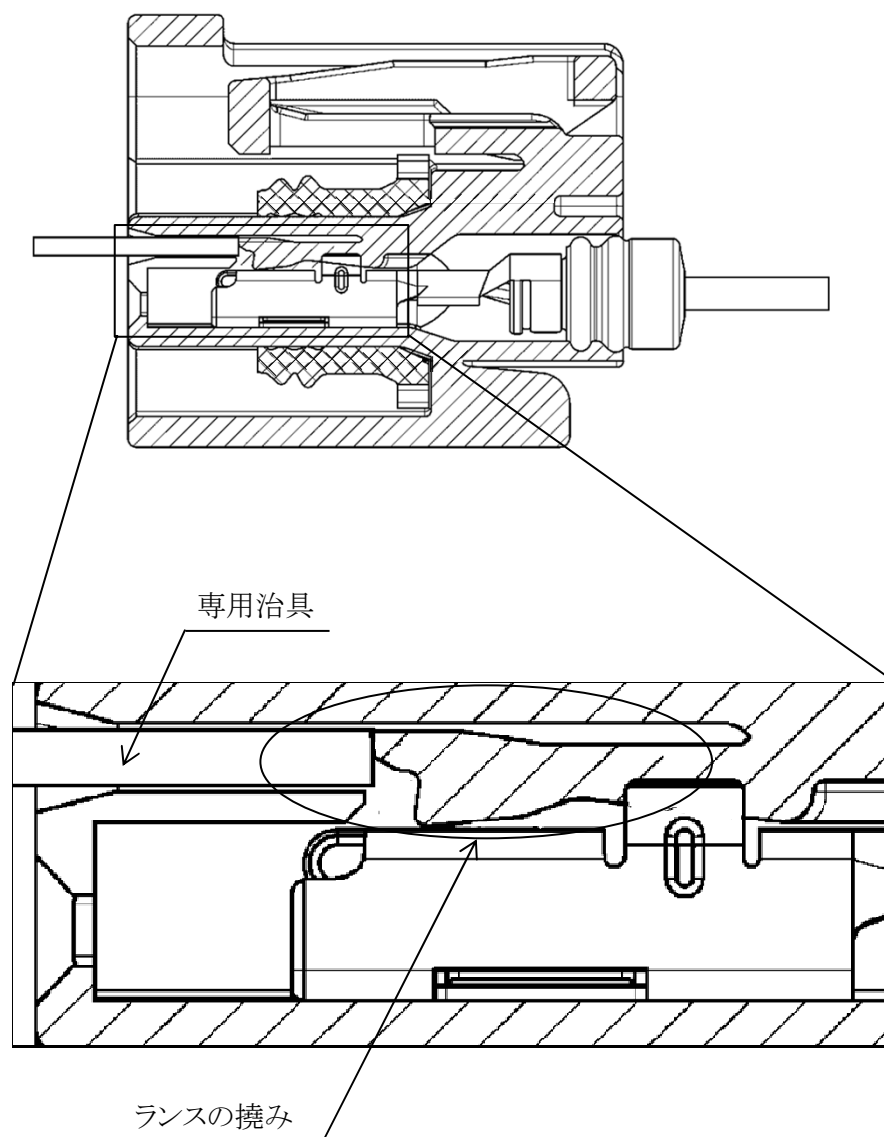
5-3-1.導通検査治具での検査方法

配線検査や導通検査に使用する治具は、ハウジングや端子を破損しないようにかん合相手と同程度の精度として下さい。

5-3-2.半挿入検査検知方法

端子半挿入検知については、ランスの撓みを専用治具で確認して下さい。

それが出来ない場合は、端子引っ張り確認などで確実に端子半挿入状態でないことを確認して下さい。



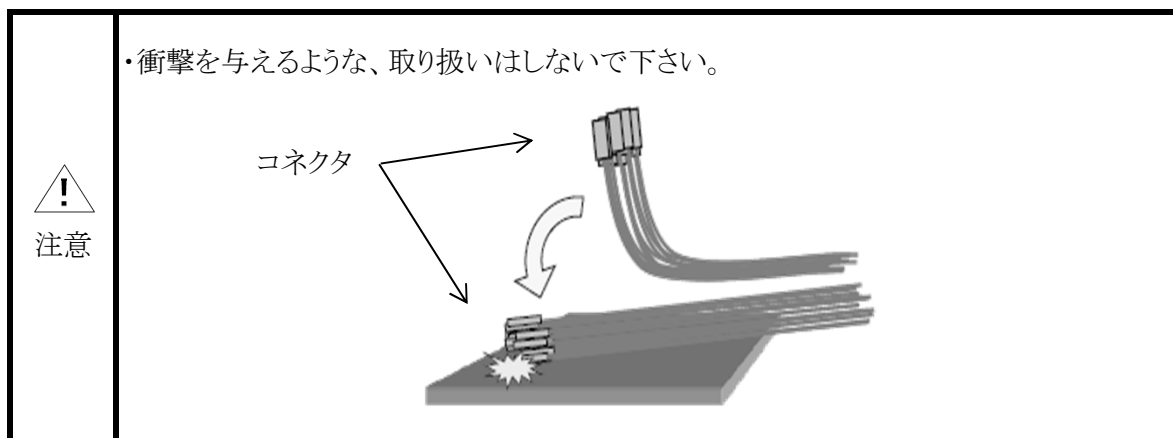
注意

- ・上記作業に使用する治具等でシール面に傷を付けないで下さい。
- ・上記作業に使用する治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

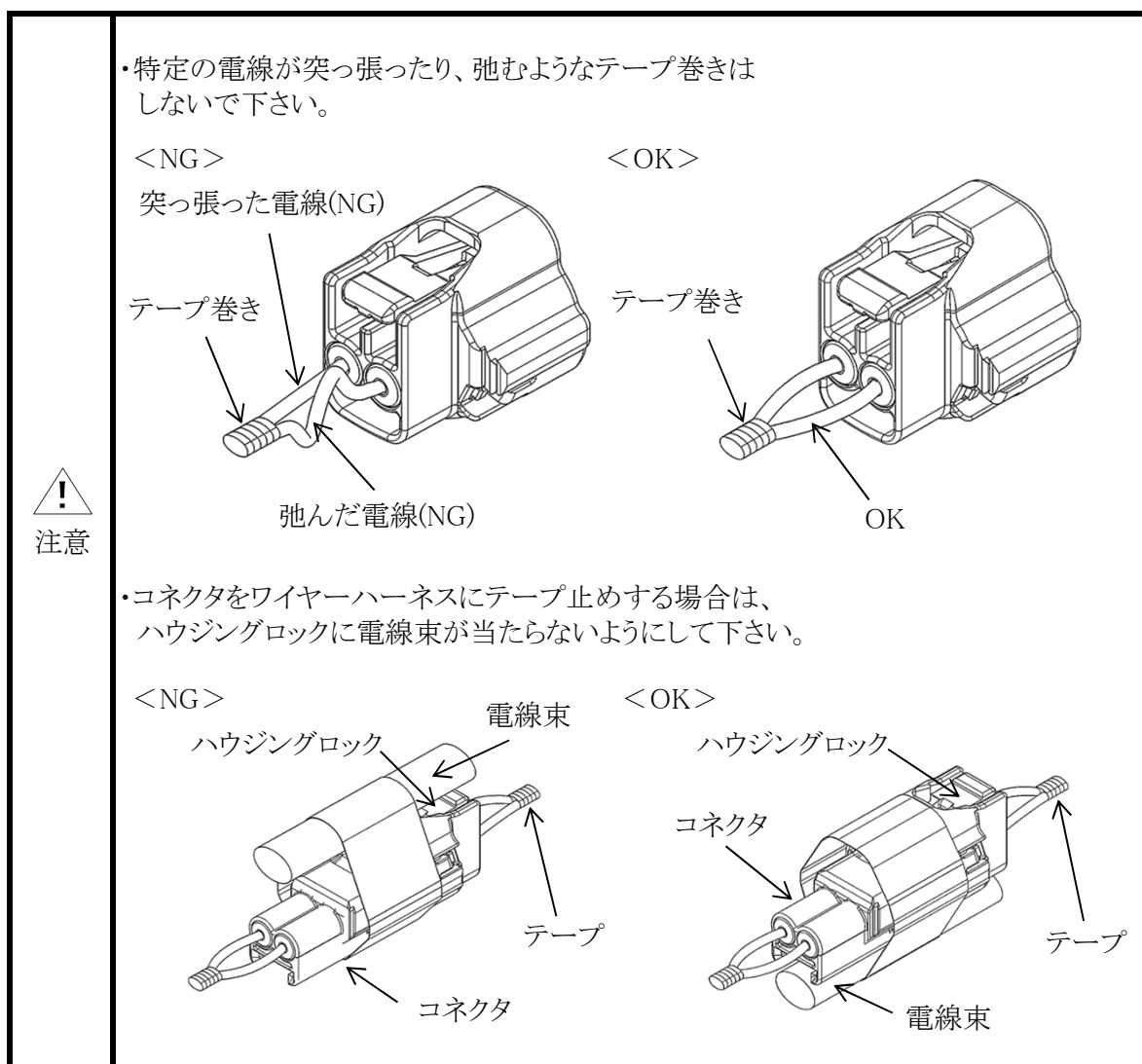
6.ワイヤーハーネスの管理、梱包、開封

6-1.ワイヤーハーネスの管理

6-1-1.ワイヤーハーネスの配策方法



6-1-2.ワイヤーハーネスの外装テープ巻き方法



6-2.ワイヤーハーネスの梱包

- 1) ジャンクションブロック、リレーボックス、プロテクター、ブラケットのような重いものは、梱包箱や仕切りの底に配置して下さい。

○		×	
---	--	---	--

- 2) コネクタはワイヤーハーネス束の外側か内側へ配置して下さい。

○	
×	

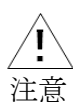
- 3) 運搬、保管中にワイヤーハーネスが動かないように、梱包箱に合うサイズで束ねて下さい。

○	梱包箱に合わせたサイズ、配置で運搬、保管中の動きを最小限に抑えている。
×	余分なスペースがあるため運搬、保管中にワイヤーハーネスが梱包箱内で動きやすい。



- ・製品にかかるワイヤーハーネスの荷重を均一にして下さい。

6-3.ワイヤーハーネスの開封

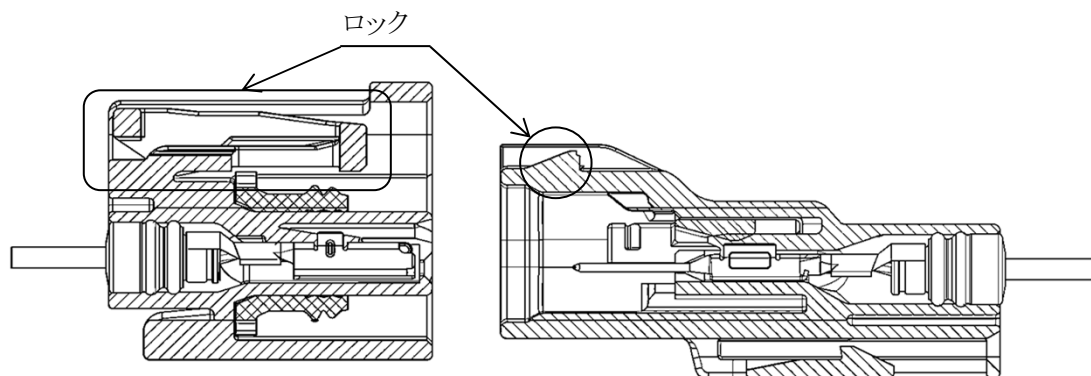


- ・梱包箱からワイヤーハーネスを取り出す際は、ワイヤーハーネスの絡みに注意して下さい。
- ・踏む、落下させる等によって外部から力が加わらないようにして下さい。

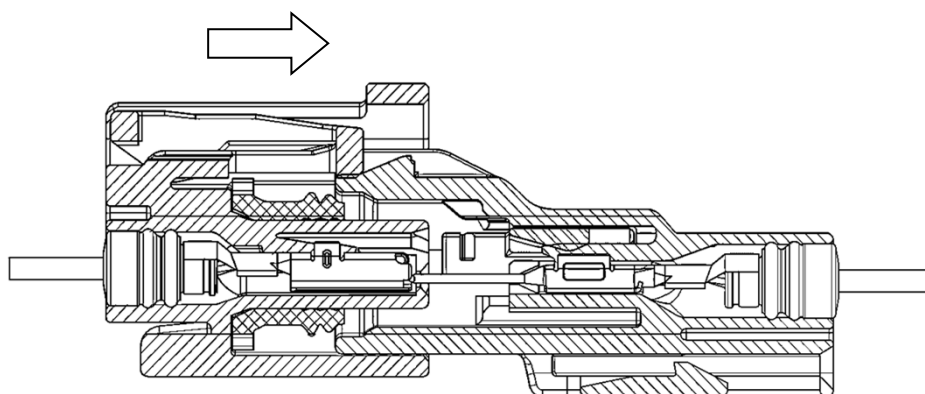
7.コネクタのかん合・離脱

7-1.コネクタのかん合方法

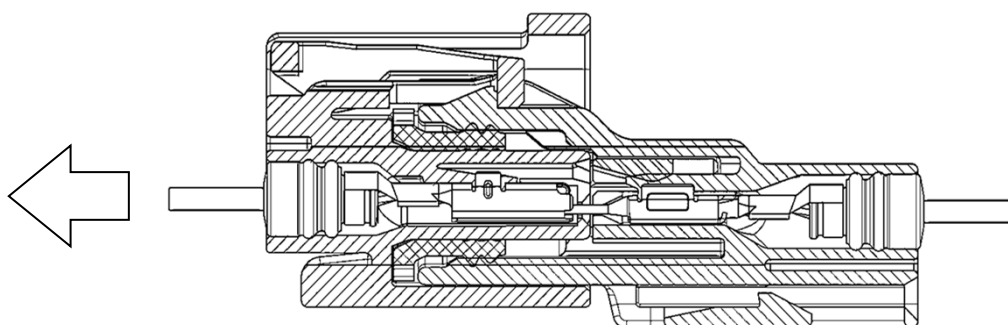
- 1) オス・メスコネクタのロックが同じ方向であることを確認して下さい。



- 2) 係止音がするまで、矢印方向にメスコネクタをオスハウジングへ真っ直ぐ押し込んで下さい。



- 3) メスコネクタを矢印方向に軽く引っ張り、ロックが確実に係止していることを確認して下さい。

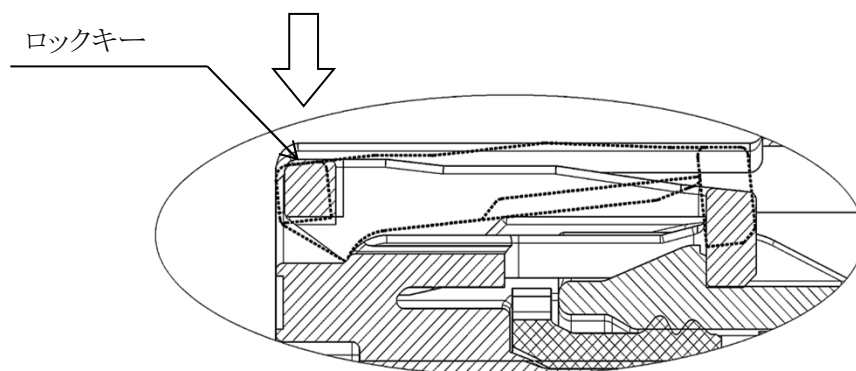
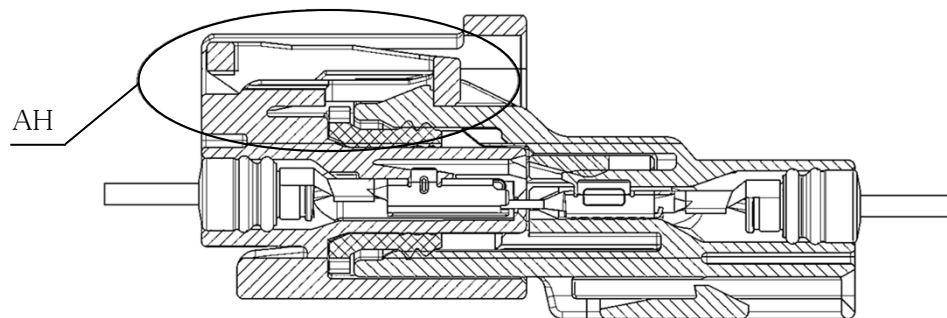


- 電線を持って挿入しないで下さい。
- オスメスカん合は、ダミー栓挿入から3時間以上経過してから行って下さい。
※ダミー栓が無い物は除く。

7-2.コネクタの離脱方法

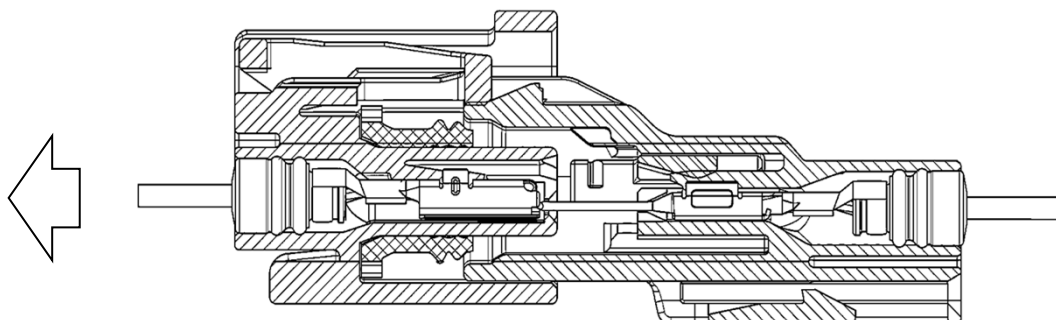
■ Zロックタイプ

1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。



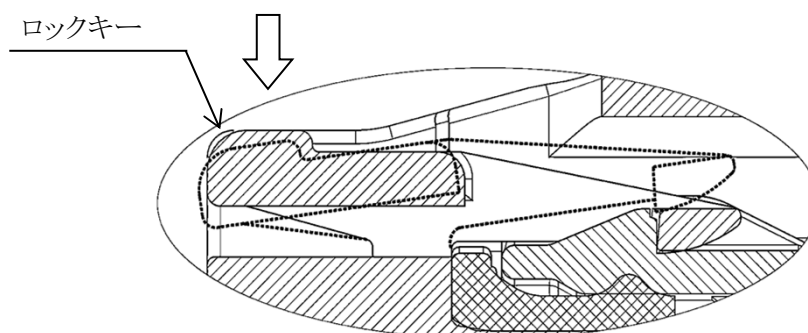
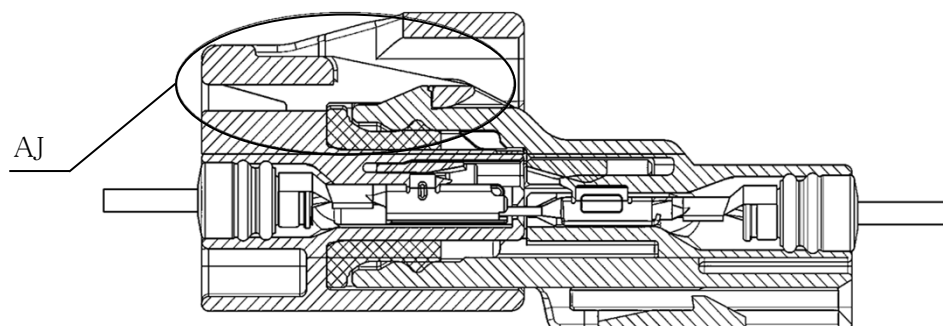
DETAIL AH

2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。



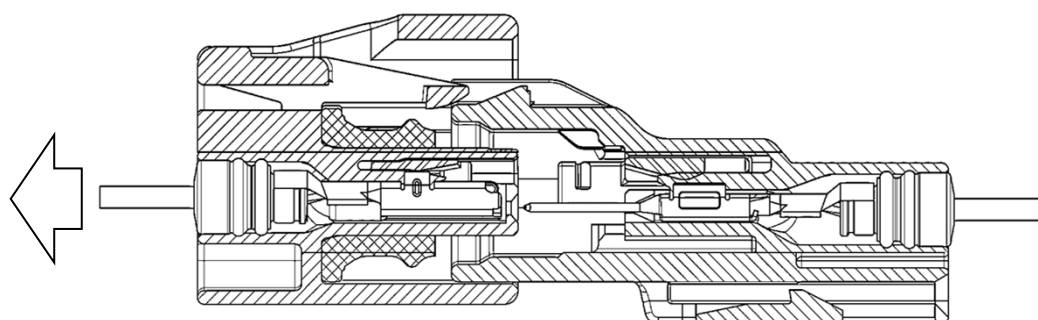
■ シーソーロックタイプ

- 1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。



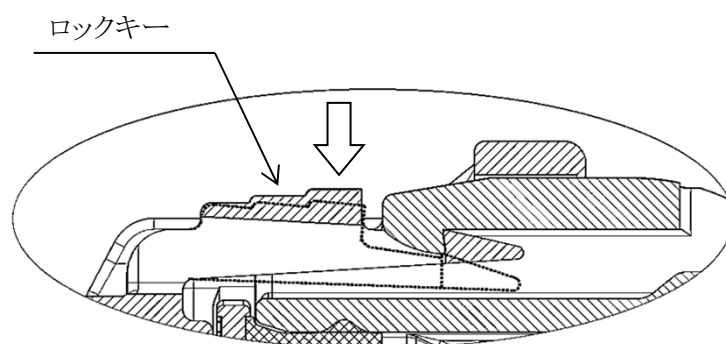
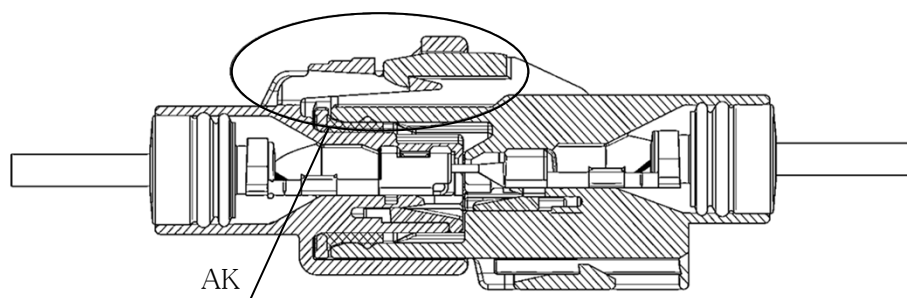
DETAIL AJ

- 2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。



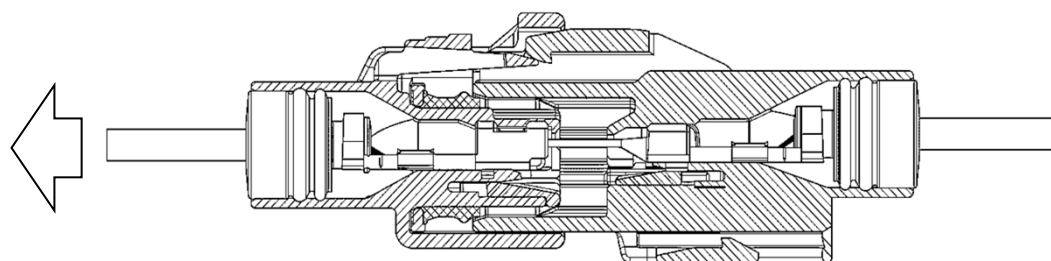
■ 正面ロックタイプ

1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。



DETAIL AK

2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。



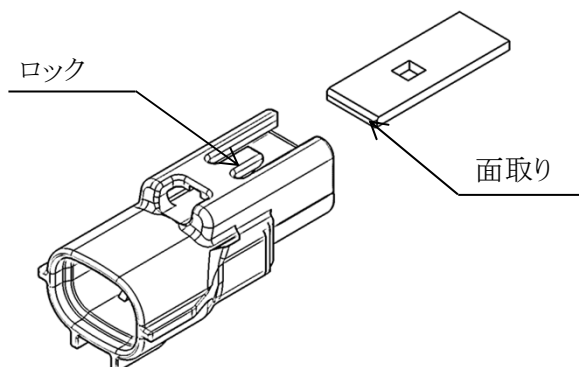
注意

・電線を持って離脱しないで下さい。

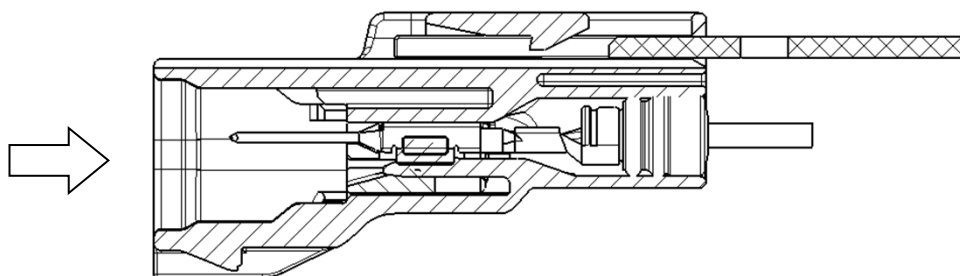
8. ブラケットへの挿入、離脱

8-1. ブラケットへの挿入方法

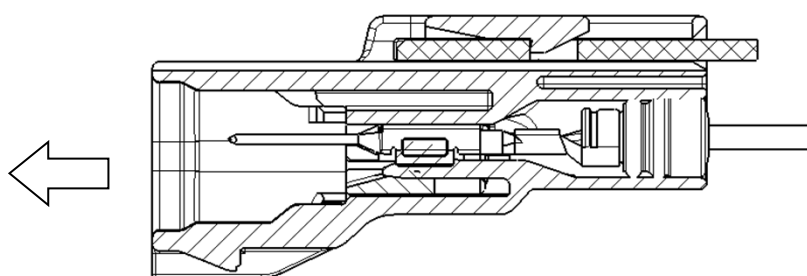
- 1) ブラケットの面取りをカセットのロック側になるように合わせて下さい。



- 2) 係止音がするまで、矢印方向にコネクタをブラケットへ真っ直ぐ挿入して下さい。



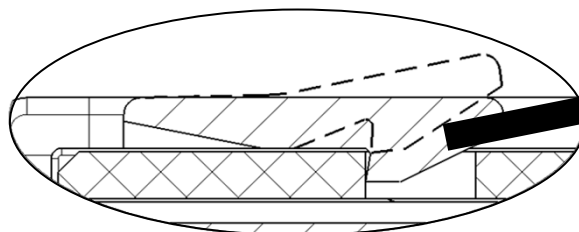
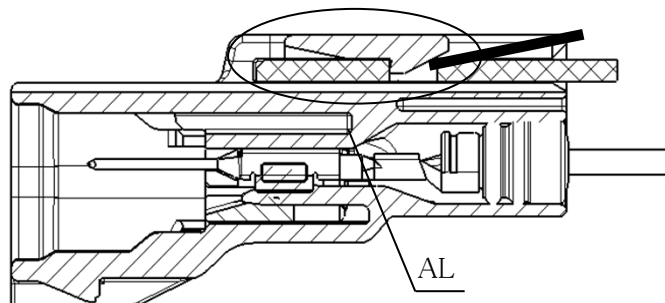
- 3) コネクタを軽く引っ張り、ブラケットが確実に係止されていることを確認して下さい。



- ・電線を持って挿入しないで下さい。
- ・カセット内に異物がないか確認して下さい。
- ・適用ブラケット以外を挿入しないで下さい。
(適用ブラケットについては品番一覧を参照下さい)

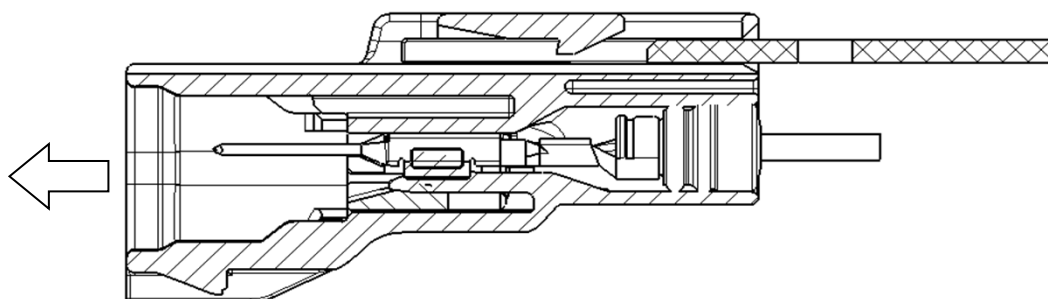
8-2.ブラケットへの解除方法

- 1) スルーロックをマイナスドライバー又は治具で押し上げ
ロックを解除して下さい。



DETAIL AL

- 2) スルーロックを押し上げたまま、下図のようにコネクタを
矢印方向に引っ張って離脱して下さい。



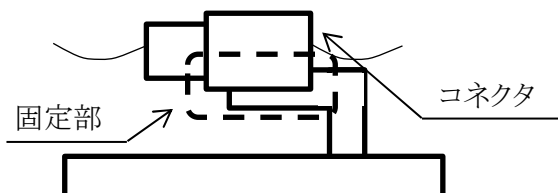
注意

- ・電線を持って離脱しないで下さい。
- ・ロックが解除されていることを確認してから引き抜いて下さい。

9.コネクタの車輛搭載

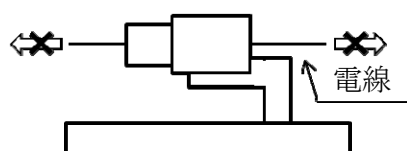
9-1.車輛搭載方法

- コネクタを必ず固定して下さい。

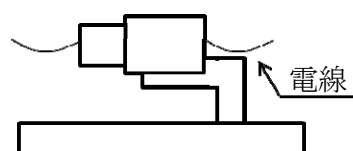


- 電線に張力がかからないようにして下さい。

<NG>

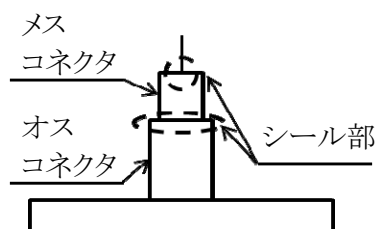


<OK>

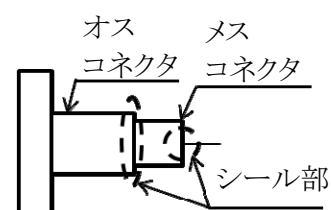


- コネクタのシール部に水が溜まらないレイアウトにして下さい。

<NG>

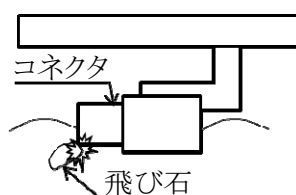


<OK>

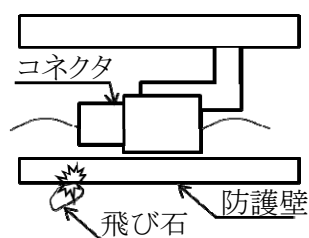


- 飛び石がある部位でコネクタを使用する場合、防護壁等を設けてコネクタを保護して下さい。

<NG>

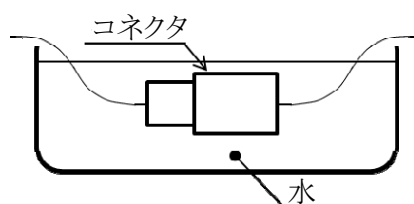


<OK>

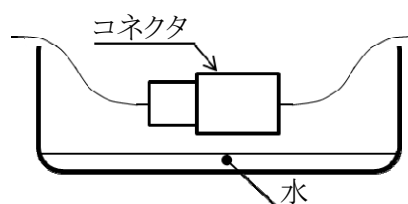


- 水没が想定される部位又は水没状態でコネクタを使用しないで下さい。

<NG>



<OK>



品番一覧表 (0.64Wシリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
			二重係止	HLC	二重係止	HLC	
0.64W	2P	3.6mm	7289-7040-30	—	—	—	—
0.64W	3P	3.6mm	7289-7041-30	—	—	—	—

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (2.3Ⅱシリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
			二重係止	HLC	二重係止	HLC	
2.3Ⅱ	1P	6.0mm	7283-1015	7289-4200-30	—	—	—
2.3Ⅱ	1P	6.0mm	7283-1018	—	—	—	—
2.3Ⅱ	1P	6.0mm	7283-1019	—	—	—	—
2.3Ⅱ	1P	6.0mm	7283-1114	7289-2912	—	—	—
2.3Ⅱ	1P	6.0mm	7283-7527	—	—	—	9mmタイプ
	2P		—		7282-7527		
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-4421	—	7282-4421	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-5062-30	7289-9325-30	—	—	—
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	—	7289-2914	—	—	—
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	—	7289-2913	—	—	—
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-7027	7287-7775	—	—	—
		6.0mm		7289-7196			
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-7028	7287-7600	7282-7028	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-7929	—	—	—	—
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-8129	—	7282-8129	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-8220	7287-7598	—	—	—
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	7283-7526	7287-7597	7282-8120	—	9mmタイプ
		6.0mm		7289-3291			
2.3Ⅱ	3P	6.0mm	7283-1133	7289-2915	—	—	—
2.3Ⅱ	3P	6.0mm	7283-7030	—	—	—	—

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (2.3Ⅱシリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
			二重係止	HLC	二重係止	HLC	
2.3Ⅱ	3P	6.0mm	7283-7031	—	7282-7031	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	4P	6.0mm	7283-1440	—	—	—	—
2.3Ⅱ	4P	6.0mm	7283-7040	7287-7599	7282-7040	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	4P	5.0mm	7283-7449	—	—	—	—
2.3Ⅱ	4P	5.0mm	7287-8452-30				
2.3Ⅱ	5P	6.0mm	7283-1056	—	—	—	—
2.3Ⅱ	5P	6.0mm	7283-1057	7289-2917	—	—	—
2.3Ⅱ	5P	6.0mm	7283-7050	7289-2916	—	—	—
2.3Ⅱ	5P	6.0mm	7283-7052	—	—	—	—
2.3Ⅱ	6P	6.0mm	7283-7062	—	7282-7062	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	6P	6.0mm	7283-7064	7289-2918	7282-7064	—	9mmタイプ
2.3Ⅱ	6P	6.0mm	7283-9734	—	—	—	—
2.3Ⅱ	6P	6.0mm	7283-1968-30	7287-7596	—	—	—
				7298-4919-30			
2.3Ⅱ	8P	6.0mm	7283-1288	—	7282-1288	—	—
2.3Ⅱ	8P	6.0mm	7283-1289	—	7282-1289	—	17mmタイプ
2.3Ⅱ	8P	6.0mm	7287-8249-40	—	—	—	—
2.3Ⅱ	10P	6.0mm	7283-1407	—	—	—	—

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (4.8シリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
			二重係止	HLC	二重係止	HLC	
4.8	2P	－	7283-8221	－	－	－	－
4.8	4P	－	7283-7142	－	7282-7043	－	17mmタイプ

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (8.0シリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
			二重係止	HLC	二重係止	HLC	
8.0	1P	—	7283-3013	7289-2919	7282-3013	—	9mmタイプ

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (HYBRIDシリーズ)

シリーズ	極数	ピッチ	シリーズ	極数	ピッチ	メス		オス		カセットタイプ
						二重係止	HLC	二重係止	HLC	
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	4.8	1P	—	7283-7032	—	7282-7032	—	17mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	6.0mm	4.8	3P	—	7283-7350	—	7282-7350	—	17mmタイプ
4.8	2P	—	8.0	2P	—	7283-7046	—	7282-7046	—	17mmタイプ

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△(○:製品品番、△:色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子/ゴム栓については、
取扱説明書No.「YPES-15-1991」品番一覧のシリーズ、ピッチが同じものを参照下さい。

注3) 上記コネクタに使用可能なダミー栓については、「別紙 7」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。

品番一覧表 (ダミー栓)

シリーズ	ピッチ	色	品番
0.64W	3.6mm	ダークブラウン	7172-5628-80
2.3 II	5.0mm	ダークグレー	7172-6358-10
2.3 II	6.0mm	ベンガラ	7157-8767-80
4.8	-	グレー	7157-8763
8.0	-	ブラック	7157-8764

注3) 上記ダミー栓を使用可能なコネクタについては、
「別紙 1～6」のシリーズ、ピッチが同じものをご参照下さい。